



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月4日

上場会社名 株式会社マキヤ 上場取引所 東
 コード番号 9890 URL <https://www.makiya-group.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 早川 紀行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長兼経理・財務部長 (氏名) 竹島 剛 TEL 0545-36-1000
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	17,430	4.5	379	△9.0	442	△1.6	299	△3.3
2022年3月期第1四半期	16,678	—	416	—	450	—	309	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 243百万円 (△32.7%) 2022年3月期第1四半期 361百万円 (△47.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	30.02	—
2022年3月期第1四半期	31.05	—

(注) 前第1四半期連結会計期間の各数値については、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用した影響により、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	32,035	16,885	52.7	1,691.38
2022年3月期	32,169	16,717	52.0	1,674.48

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 16,885百万円 2022年3月期 16,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	34,900	3.1	720	△7.7	810	△3.8	565	△17.9	56.59
通期	70,300	2.6	1,690	0.6	1,830	0.8	1,130	△15.1	113.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	10,540,200株	2022年3月期	10,540,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	556,818株	2022年3月期	556,818株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	9,983,382株	2022年3月期1Q	9,983,382株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、円安や資源価格の上昇に伴う原材料コストの上昇に直面する中、活動制限の緩和を受けた経済活動の活発化を背景に持ち直しの動きが見られたものの、新型コロナウイルス感染拡大の第7波の影響が懸念される等、依然として先行きの見え難い状況で推移しております。

当小売業界におきましては、消費者の物価上昇に対する「生活防衛志向」、同業態・異業態をはじめeコマースも含めた「競争の激化」、或いは「人口減少・高齢化」に伴う「可処分所得の減少」、人手不足や最低賃金の上昇による「人件費の高騰」、エネルギー価格の上昇（水道光熱費等）による「店舗運営コストの増加」など、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況の中、当社グループは、お客様の「毎日の生活」を、より豊かに、楽しく、健康で、快適にする、「より良い商品」を、「安心の価格（価値価格の安さ）」と「温かいサービス」でご提供し、社会に貢献する、「働き易い、高収益企業」になるという中長期基本方針の実現のため、中長期経営改革プロジェクト『MAP 3』（Makiya-group Advancing Profit 3）を編成し、経営改革目標数値の達成のために、①「作業改善」と「働き方」改革の推進、②品揃え・品質・価格・売り方・サービスの磨き上げ、③「ファーストチョイス」の推奨販売、④「欠品」撲滅・フェイスUP・ボリューム陳列、⑤「ロス額」削減と「仕入コスト」の改善を全力で推進し、経営基盤の強化と企業価値の向上に取り組んでおります。

「ロス額」の削減におきましては、食品等の「廃棄ロス」の削減に積極的に取り組んでおり、「廃棄ロス額」は前年同期比で3.7%の削減を図っております。

また、順次導入を進めているセミセルフレジを、エスポット新富士駅南店に導入いたしました。

社会貢献活動としましては、ロシアの侵攻を受けるウクライナへの人道救援金として5百万円を日本赤十字社に寄付するとともに、各店舗においてもウクライナ子ども救援募金を行いました。

なお、当第1四半期連結累計期間の店舗政策につきましては、以下のとおりであります。

区 分	店 舗 名	年 月	備 考
開 店	業務スーパー嵐山店 (埼玉県比企郡嵐山町)	2022年4月	新規開店
改 装	エスポット新富士駅南店 (静岡県富士市)	2022年6月	業務スーパー商材の導入・ 売場最新化

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益は17,592百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は379百万円（前年同期比9.0%減）、経常利益は442百万円（前年同期比1.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は299百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①小売業

営業収益は17,484百万円（前年同期比4.5%増）となりました。「フード（食品）」部門につきましては、「エスポット（フード）」と「業務スーパー」が好調に推移し、生鮮食品、日配食品、加工食品のいずれも前年同期を上回り、前年同期比5.5%増となりました。「ノンフード（非食品）」部門につきましても、天候不順の影響があったものの、HBC（ヘルス・ビューティー・ケア）商品、生活関連商品及びリサイクル事業が前年同期を上回り、前年同期比0.7%増となりました。

営業利益は454百万円（前年同期比2.3%減）となりました。これはエネルギーコストの上昇による電気料等の「水道光熱費」の増加等により販売費及び一般管理費が5.8%増加したこと等によるものであります。

②不動産賃貸事業

営業収益は108百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は36百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は32,035百万円となり、前連結会計年度末と比較して134百万円減少いたしました。

流動資産は8,187百万円となり、前連結会計年度末と比較して120百万円減少いたしました。これは、現金及び預金が46百万円、商品が39百万円、売掛金が17百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は23,847百万円となり、前連結会計年度末と比較して13百万円減少いたしました。これは、既存店の改装等により建物及び構築物が103百万円増加したものの、投資その他の資産が93百万円、無形固定資産が26百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は15,149百万円となり、前連結会計年度末と比較して303百万円減少いたしました。

流動負債は10,490百万円となり、前連結会計年度末と比較して1百万円減少いたしました。これは、短期借入金が334百万円、流動負債その他に含まれる未払消費税等が181百万円及び未払金が73百万円増加したものの、買掛金が500百万円、未払法人税等が172百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は4,658百万円となり、前連結会計年度末と比較して301百万円減少いたしました。これは、長期借入金が297百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は16,885百万円となり、前連結会計年度末と比較して168百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が224百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期における第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2022年5月6日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,244,822	1,198,693
売掛金	1,265,341	1,247,424
商品	5,454,845	5,415,502
その他	343,268	325,937
貸倒引当金	△370	△373
流動資産合計	8,307,907	8,187,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,007,391	9,111,022
土地	8,011,350	8,011,350
その他(純額)	1,190,256	1,193,123
有形固定資産合計	18,208,998	18,315,496
無形固定資産	1,085,128	1,058,793
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,957,612	2,949,212
その他	1,609,969	1,524,434
投資その他の資産合計	4,567,582	4,473,647
固定資産合計	23,861,709	23,847,938
資産合計	32,169,616	32,035,122
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,616,543	5,115,649
短期借入金	1,771,258	2,106,243
未払法人税等	311,312	139,219
賞与引当金	150,733	150,554
役員賞与引当金	5,383	4,281
損害賠償引当金	120,000	120,000
その他	2,517,304	2,854,807
流動負債合計	10,492,535	10,490,756
固定負債		
長期借入金	2,457,145	2,159,677
退職給付に係る負債	689,833	668,059
役員退職慰労引当金	107,160	110,610
資産除去債務	612,536	617,468
その他	1,093,346	1,102,835
固定負債合計	4,960,021	4,658,650
負債合計	15,452,557	15,149,407

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	14,557,367	14,782,223
自己株式	△446,285	△446,285
株主資本合計	16,393,028	16,617,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	351,759	291,681
退職給付に係る調整累計額	△27,729	△23,851
その他の包括利益累計額合計	324,029	267,830
純資産合計	16,717,058	16,885,714
負債純資産合計	32,169,616	32,035,122

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	16,678,008	17,430,539
売上原価	12,883,246	13,468,247
売上総利益	3,794,761	3,962,291
営業収入		
不動産賃貸収入	162,493	162,298
営業総利益	3,957,254	4,124,589
販売費及び一般管理費	3,540,472	3,745,459
営業利益	416,781	379,130
営業外収益		
受取利息	1	6
受取配当金	6,868	7,042
受取手数料	18,685	16,404
リサイクル収入	9,075	11,188
事業譲渡益	—	33,000
その他	8,395	11,479
営業外収益合計	43,025	79,121
営業外費用		
支払利息	4,587	4,459
株主優待費用	4,042	4,625
その他	1,087	6,377
営業外費用合計	9,716	15,462
経常利益	450,090	442,789
税金等調整前四半期純利益	450,090	442,789
法人税、住民税及び事業税	18,742	119,035
法人税等調整額	121,356	24,022
法人税等合計	140,098	143,058
四半期純利益	309,992	299,731
親会社株主に帰属する四半期純利益	309,992	299,731

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	309,992	299,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,158	△60,078
退職給付に係る調整額	29,628	3,878
その他の包括利益合計	51,787	△56,199
四半期包括利益	361,779	243,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	361,779	243,531
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。